

5 本時の指導

(1)目標

- 学習問題について調べてきたことを整理し、室町時代に今日に続いた文化が生まれたことを適切に、表現する。

(2)本時の指導

	4つの学習内容	○学習活動 ☆評価	7つの学ぶ力
つかむ		<p>○学習計画から本時のめあてを確認する。</p> <p>くめあて> 調べてきたことを整理し、学習問題に対する考え方をまとめよう。</p>	
考える	<p>①体験 図工の学習を通して 学んだことを振り返り ながら考える。</p> <p>②人 (墨絵アーティスト 西元祐貴) 作品やアーティストの 思いを通して、室町時 代の文化をより身近に 感じさせる。</p>	<p>○学習問題と予想を振り返り、調べてきたことを整理する。</p> <p>・金閣 銀閣 水墨画 茶の湯 生け花 石庭 能 狂言 田楽 猿楽 ・様々な人が楽しんだ。 ・平安時代よりも身近な文化が多い。 →つまり、室町文化は庶民を中心とした文化だ。 室町時代には、武士や貴族だけでなく、民衆にも親しまれるような文化が生まれ、現在も親しまれてい る。</p> <p>☆【知・技②】【思・判・表②】(ノート・発言)</p> <p>○身近な文化かどうかを考え、墨絵アーティストの 作品を紹介し、小グループで意見を交流しながら 描き続ける理由を考える。</p> <p>・墨の魅力がある。・水墨画を伝えたい。 ・海外の人も興味をもつそう。</p>	<p>⑤ 考える力 社会「貴族のくらし」 調べて分かった室町文化 のことを総合して考える。</p> <p>①話す・聞く力 友達の考えを聞き、自分の 考えと比較しながら深める。</p>
まとめる	<p>④楽しさ 墨絵を体験し、思いや 考えが広がる楽しさ。</p>	<p>○学習問題に対して、これまで調べたり体験したり したことを関連付けてまとめ、発表する。</p> <p>西元さんは、人気のキャラクターを墨で表現していて、こ れからも水墨画を伝えていくために工夫しているんだな と思った。室町時代の文化をより身近に感じた。水墨画 などの室町時代の文化がこれからも受け継がれていっ てほしい。</p> <p>☆【態度②】(ノート)</p>	<p>⑦自分の生活や社会に生 かす力 室町時代の文化が身近で あることに気付き、文化を大 切にしたいという思いをも つ。</p>

第6学年 社会

授業日:10月23日5校時

授業者:富樫 彩

学 級:第6学年3組

今に伝わる室町文化

1 小単元の目標

我が国の歴史的事象について、京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画に着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、文章でまとめ、この頃の文化の特色を考え、今日の生活につながる室町文化が生まれたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

2 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画である金閣や銀閣、水墨画などについて遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、今に受け継がれる文化を理解している。</p>	<p>①京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物である金閣や銀閣、水墨画などについて目して、問い合わせを出し、今に受け継がれる文化について考え、表現している。</p> <p>②調べたことを文や表などにまとめ、今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解している。</p>	<p>①京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物である金閣や銀閣、水墨画などについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追及し、解決しようとしている。</p> <p>②学習したことを基に、長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と自分たちの生活とのかかわりを考えようとしている。</p>

3 授業デザイン

学習指導要領 第6学年内容(2)(オ)室町文化に、以下の各教科等・領域の内容、4つの学習内容、7つの学ぶ力をつないで、授業をデザインした。

各教科等・領域	4つの学習内容	7つの学ぶ力
<p>図工</p> <p>「墨のうた」で実際に墨を使って絵を描くことに取り組み、墨で絵を描くことの楽しさや普段の絵の描き方との違いに気付く。また、社会科で室町文化の学習を終えた後に、実際に水墨画を描くことに取り組むことで、今に伝わる室町文化を児童が実感できるようにした。</p>	<p>①体験 図工の学習を通して学んだことを振り返りながら考える。</p> <p>②人(墨絵アーティスト 西元祐貴) 作品やアーティストの思いを通して、室町時代の文化をより身近に感じさせる。</p>	<p>①話す・聞く力 友達の考えを聞き、自分の考えと比較しながら深める。</p> <p>⑤考える力 調べて分かった室町文化のことを総合して考える。</p> <p>⑦自分の生活や社会に生かす力 室町時代の文化が身近であることに気付き、文化を大切にしたいという思いをもつ。</p>

	つかむ	調べ・考える	まとめる
時数	1	2	3
めあて	室町文化にはどのようなものがあるのか、学習問題と計画を立てよう。	室町時代の文化には、どのような特色があるのだろうか。p	室町文化にはどのような文化があり、どのような人々に親しまれていたのだろうか。
主な学習活動	・金閣、銀閣について調べ、分かったことを話し合う。 ・疑問を出し合い、学習問題をつくる。	・資料をもとに、水墨画、生け花、茶の湯について調べる。 ・室町時代の文化には、どのような特色があるのか考え、表現する。	・室町時代に生まれた文化には、水墨画や生け花、茶の湯の他にどのようなものがあるかを調べる。 ・学習問題に対して、調べたことを関連付けてまとめ、室町文化の文化を体験してきたことを振り返り、現代との繋がりについて触れながら、気付いたことや感想を交流する。
学習内容(児童のゴールの姿)	<p>学習問題 室町時代の文化は、どのような特色があり、どのような人たちに親しまれているのだろうか。</p> <p>学習計画 ①室町時代の文化には、どのような特色があるのだろうか。 ②どのような文化があり、どのような人々に親しまれていたのだろうか。</p>	<まとめ> 室町時代には、雪舟が水墨画を大成し、茶の湯や書院造の床の間を飾る生け花などの文化が生まれ、今も多くの人々に親しまれている。	<まとめ> 能や狂言も生まれ、庶民にも親しまれるようになった。生活面でも現在につながる習慣が生まれた。 学習問題に対する自分の考え方 室町文化は庶民を中心とした文化だといえる。 室町時代には、武士や貴族だけではなく、民衆にも親しまれるような文化が生まれ、現在も親しまれている。
評価	思・判・表①／態度①	知・技①	知・技②／思・判・表②／態度②、
各教科等・領域		<p>【図工】「墨のうた」 墨を使って、どのような書き方ができるか試しに書く。</p>	<p>【図工】「墨のうた」 学んだことや西元さんの書き方を参考に、自分なりの墨絵を描く。</p>
4つの学習内容	<p>【④楽しさ】 生活経験と調べたことが内容をつなげる楽しさ。</p>	<p>【④楽しさ】 墨絵の体験と社会の学びを重ねて振り返る楽しさ。</p>	<p>【①体験】 図工の学習を通して学んだことを振り返りながら考える。 【②人】 (墨絵アーティスト 西元祐貴) 作品やアーティストの思いを基に、文化を受け継ぐことについて室町時代の文化をより身近に感じさせる。 【④楽しさ】 墨絵を体験し、思いや考えが広がる楽しさ。</p>
7つの学ぶ力	<p>【③予想する力】 理科「てこのしくみとはたらき」</p> <p>【④調べる力】 社会「縄文のむらかた古墳のくにへ」「天皇中心の国づくり」「貴族のくらし」</p> <p>【⑥まとめる力】 社会「縄文のむらかた古墳のくにへ」「天皇中心の国づくり」「貴族のくらし」</p> <p>【②NIEで身に付く力】 資料から必要な情報を選ぶ力。</p> <p>【①話す・聞く力】 友達の考えを聞き、自分の考えと比較しながら深める。</p>		<p>【⑤考える力】 社会「貴族のくらし」</p> <p>【⑦自分の生活や社会に生かす力】 室町時代の文化が身近であることに気付き、文化を大切にしたいという思いをもつ。</p>